

MONOBE TIMES

教育目標
○心情豊かな人
○自ら学ぶ人
○勤労を尊ぶ人
○よく考えて行動する人
○国際社会に貢献する人

〒321-4511 栃木県真岡市高田1838
TEL 0285-75-0008
HP <http://www.moka-tcg.ed.jp/monojhsc/>
ホームページで学校の様子を紹介しています
ぜひご覧ください



真岡市立物部中学校
学校だより
令和2年度 第8号
令和2年 12月発行

校長室から

人権週間と様々な人権問題

校長 1

本格的な冬の到来を迎え、身も心も引き締まる季節となりました。寒さの中でも、生徒たちは、元気いっぱい日々の授業や部活動に取り組んでいます。特に、受験を控えた3年生の頑張りには目を見張るものがあり、進路達成に向けて真剣に学習に向き合い、着実に力を付けています。来春、3年生全員が笑顔で巣立っていけるよう、全職員で支援して参ります。

さて、今年も人権週間として、12月4日～10日の期間に、全国で様々な取り組みが行われました。本校でも、人権意識の高揚を最重要課題の一つと捉えており、人権週間に先立ち12月2日の全校朝会で、様々な人権問題についての講話を行いました。主な内容は以下のとおりです。

世界人権宣言が採択されてから70年以上が経過した現在も、依然として多くの人権問題があり、偏見や差別に苦しんでいる人が大勢いる。次に示すのは、様々な人権問題の一部である。

【同和問題】

日本社会の歴史の過程で形づくられた身分差別により、同和地区と呼ばれる特定の地域出身であることやそこに住んでいることを理由に、長年にわたり差別を受けてきた人々が、今も結婚や就職の際に差別を受ける問題がある。

【子ども】

学校では、いじめや暴力、不登校、体罰などの問題があり、家庭では親から虐待を受けるなどの問題がある。日本は1994年に「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」を批准し、子どもの生命と人権を守ることに取り組んでいる。

【高齢者】

身体や精神面のおとろえを理由に、高齢者をのけ者にしたり、邪魔者扱いしたりするなどの問題がある。また、就職に際して差別されたり、介護の際に身体的・心理的虐待が行われたりする問題などもある。

【障害者】

障害があることを理由に、就職に際して差別される問題やアパート・マンションなどへの入居を拒否される問題、施設における虐待などの問題がある。

【女性】

「男は仕事、女は家庭」といった考え方が今も根強くあり、女性が不利益を受けるなどの問題がある。また、セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)や夫・交際相手などから暴力(DV・デートDV)を受けるなどの問題もある。

【外国人】

言葉や生活習慣等の違いから、入居や入店を拒否されたり、就職に際して差別されたりするなどの問題がある。また、一部の国や民族などの外国人に向けて憎しみをあおるような差別的言動(ヘイトスピーチ)が行われるなどの問題もある。

【HIV感染者・ハンセン病患者及び元患者】

不正確な知識や思いこみによってHIV感染者やハンセン病患者等への偏見や差別意識が生まれ、患者・元患者やその家族が日常生活や職場などで差別を受けるなどの問題がある。現在、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大する中、感染者やその家族、医療従事者などが差別されるケースも発生している。

【インターネットによる人権侵害】

自分の名前を明らかにせず、不特定多数の人に自由に情報を公開できる特性が悪用され、悪口が書き込まれたり、プライバシーが侵害されたりするなどの問題がある。

人権は、だれにとっても身近で大切なものであり、必ず守られるべきものである。しかし、私たちの心の中には、自分とは違う一面をもつ人を差別する気持ちが入り込んでくることがある。その弱い気持ちに負けないためには、人権感覚を磨き続けなければならない。自分の心に偏見の芽はないか、みんなと違うという理由だけで排除や差別をしていないか、弱い立場の人をいじめていないかなど、常に自分自身を厳しく見つめることが大切である。それは皆だけでなく、我々大人も同じである。

世界大戦など20世紀までの反省の上に立ち、21世紀を全ての人の人権が尊重され、幸福が実現する時代にしたいとの願いを込めて、「21世紀は『人権の世紀』である」とされています。21世紀を生きる生徒たち一人一人の人権が尊重され、安心や幸せを享受できるよう、本校では引き続き人権教育の充実を図って参ります。

※ 裏面に続きます

いよいよ2020年、令和2年、子年（庚子）も残りわずかとなりました。何事もなければ56年ぶりの東京オリンピックが開催され、国全体が高揚感と活気に大いに満ちあふれていたはずですが……コロナ禍は学校生活にも影を落としました。そうした中でも物部生徒たちは、知恵と工夫を凝らし、たくさんの学校行事を成功させてきました。たくさんの笑顔と感動を味わうことができました。今月号でもその様子をお伝えすることは、私たち教職員にとって、大変喜ばしいことです。

- ①11月12日（木）学習会スタート（3年生）
- ②11月13日（金）いじめ防止サミット
- ③11月13日（金）真岡工業高校生産機械科生徒作製のマウスシールドの寄贈
- ④11月17日（火）一元融合会「報徳田」のお米寄贈
- ⑤11月27日（金）避難訓練



① 学習会スタート



③ マウスシールド



④ 報徳田の米



⑤ 避難の様子



② サミット（討論）



② サミット（話し合い）

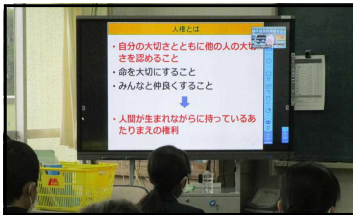


⑤ 消火訓練



⑤ 消火訓練

- ⑥12月2日（水）人権集会
- ⑦12月4日（金）ミニ・コンサート
- ⑧12月7日（月）生徒会選挙立会演説会
- ⑨12月10日（木）学校保健委員会
- ⑩12月11日（金）思春期教室（2年生）



⑥ 人権集会（Zoom）



⑦ ミニ・コンサート



⑧ 立会演説会



⑨ 学校保健委員会



⑩ 思春期教室



⑩ 赤ちゃんを抱きみる



⑩ 妊婦体験

- ① 3年生の学習会が始まりました。受験に向かう姿に、一層の真剣味が見られます。一人一人が進路の決定に向けて邁進しています。教職員一同、応援していきます。
- ② 「いじめ防止サミット」では、生徒会主催で問題提起の寸劇を披露。その後、縦割りの各班に分かれ、自分が感じた違和感について話し合いました。「いじめ」を自分の問題として捉えるきっかけとし、これからの生き方の指針が作れるようサポートしていきたいと思えます。御家庭でも、様々な視点から「いじめ」を捉えることの大切さについて、御自分の経験や見識を踏まえたアドバイスをよろしくお願ひします。
- ③ 真岡工業高校生産機械科の生徒さんたちが「マウス・シールド」を制作。本校卒業生が届けてくれました。
- ④ 地元縁の二宮尊徳先生の教えを受け継ぐ「報徳田」。そのお米を分けいただきました。
- ⑤ 火災が多発する季節を迎えています。火は文明にとって欠かせないものであると同時に、あらゆるものを奪ってしまう力を持っているものです。いざというときに地域を守る貴重な人材としての「中学生」に育ててほしいと思ひます。
- ⑥ 世界人権デーは12月10日。本校でも「人権集会」を開催しました。Zoomを活用して、人権についての見識を深め、自分たちの考えをまとめる活動に取り組みました。
- ⑦ 期末テストの最終日。緊張が解けた日、音楽での癒やしを体験できました。
- ⑧ 生徒会選挙。来年度の生徒会役員を決める時期です。選挙活動にも熱が入り、立候補者たちは真剣に未来の「物部中学校づくり」について考えての演説となりました。会場からの質問に真摯に回答する姿には、頼もしさを感じました。
- ⑨ 学校保健委員会。「食」の大切さを学びました。また、学校医・学校歯科医・薬剤師のお三方からも、健康についてお話を伺いました。
- ⑩ 2年生の「思春期教室」では、「命」を改めて感じる時間となりました。自分の両親がどんな思いで命を育てくれたのか、そして、母親がどれほどの愛情をもって自分を産んでくれたのか……。大切な時間となりました。